

令和5年度市政モニター会議 水戸市の概要について

令和5年5月12日（金）

市長公室政策企画課

1 水戸市のあゆみ

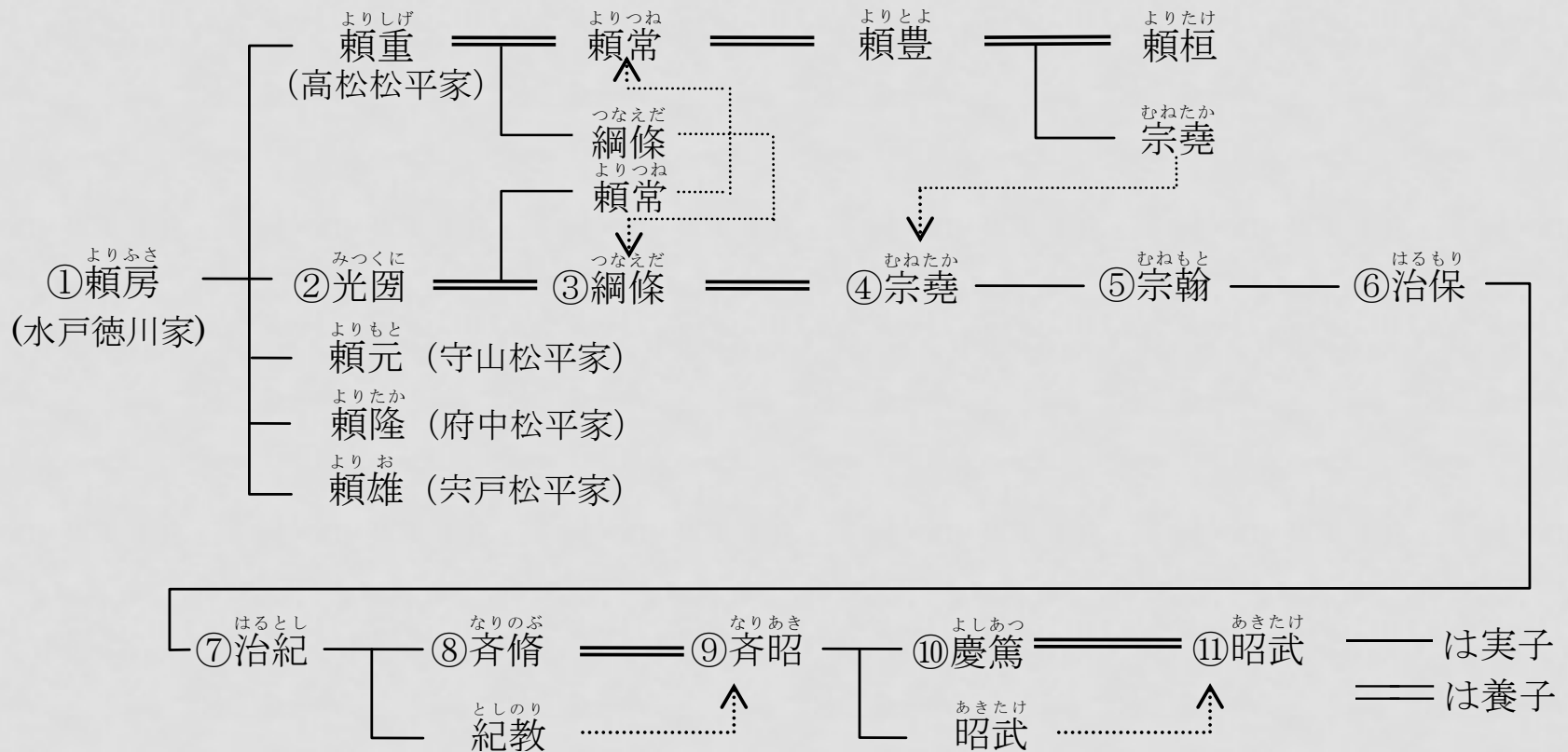
○水戸徳川家

尾張，紀伊とともに御三家と呼ばれ，格別の待遇を受けた。
水戸家だけが参勤交代がなく，藩主は江戸に常駐していた。

- ・初代藩主 徳川頼房公(徳川家康公の11男)
水戸の城下町の大改修によるまちの形成
- ・第2代藩主 徳川光圀公(水戸黄門)
笠原水道の開設，大日本史の編さん，学問の奨励
- ・第9代藩主 徳川斉昭公(徳川第15代将軍 徳川慶喜公の父)
「一張一弛」の考えの下，弘道館・偕楽園の開設

1 水戸市のあゆみ

〔水戸徳川家系図〕



1 水戸市のあゆみ

○市制施行

明治22年4月1日、横浜市などの30市とともに、日本で初めて「市」となった。

面積 6.17km²

人口 25,591人



2019(令和元)年度
市制施行130周年

明治23年の市役所庁舎

1 水戸市のあゆみ

○市町村合併

・昭和の大合併

昭和30年から33年にかけて, 近隣の村と合併

面積 146.02km² 人口 132,944人

・平成4年 常澄村との合併

面積 175.90km² 人口 246,600人

・平成17年 内原町との合併

面積 217.45km² 人口 262,603人

1 水戸市のあゆみ

【中核市 水戸】

令和2年4月に水戸市が茨城県内では初の中核市となる。

中核市移行で見込まれる市民サービスの向上

- 1 特色ある施策の展開
- 2 健康危機への迅速な対応
- 3 窓口の一元化
- 4 事務処理の効率化

保健衛生分野を中心に
約2,600項目の事務を
県に代わって行う

1 水戸市のあゆみ

【保健所の設置】

中核市移行に伴い保健所が設置される。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、迅速な情報収集や専門性の高い分析能力など、中核市ならではの強みを生かすことが可能となった。

- 1 市民からの相談対応
- 2 医療機関との連絡調整
- 3 積極的疫学調査

2 水戸市の人口

○人口の推移(国勢調査)

水戸市の総人口は、増加から横ばい状態となっている。



2 水戸市の人口

○人口の推移(国勢調査)

少子高齢化の進行。

年少人口(0～14歳)

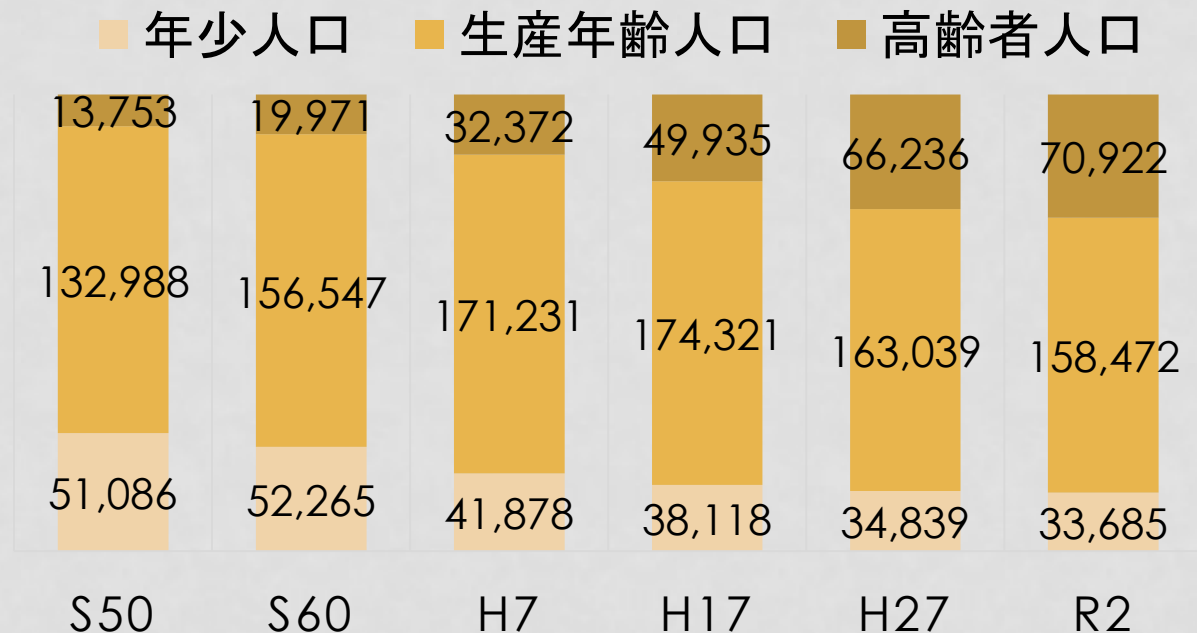
生産年齢人口

(15～64歳)

⇒ 減少傾向

高齢者人口(65歳以上)

⇒ 増加傾向



2 水戸市の人口

○人口の推移(昼間人口／夜間人口)

昼間人口 297,839人 (令和2年)

通勤・通学により、昼間の流入人口が多い。

本市の**拠点性・中枢性の高さ**を示している。

昼間人口 (297,839人)

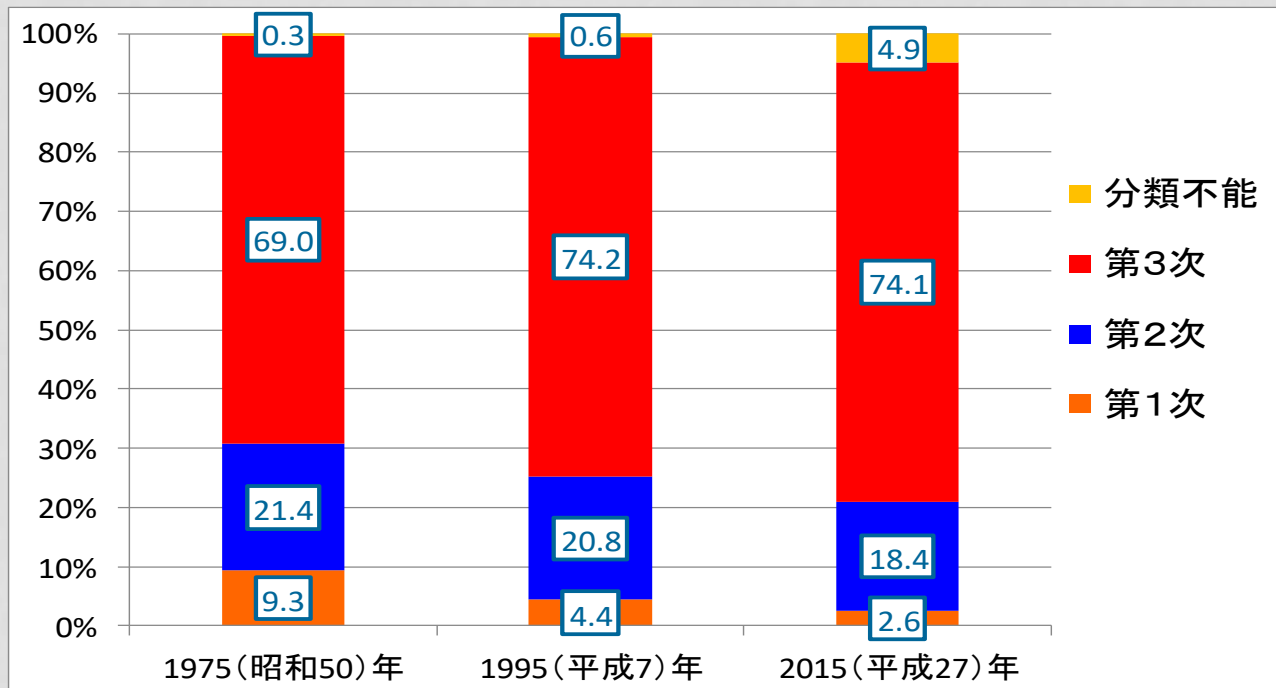
＝夜間人口 (常住人口) － 流出人口 ＋ 流入人口
(270,685人) (43,488人) (70,642人)

流入超過人口 27,154人

2 水戸市の人口

○人口の推移(産業別就業者人口の割合)

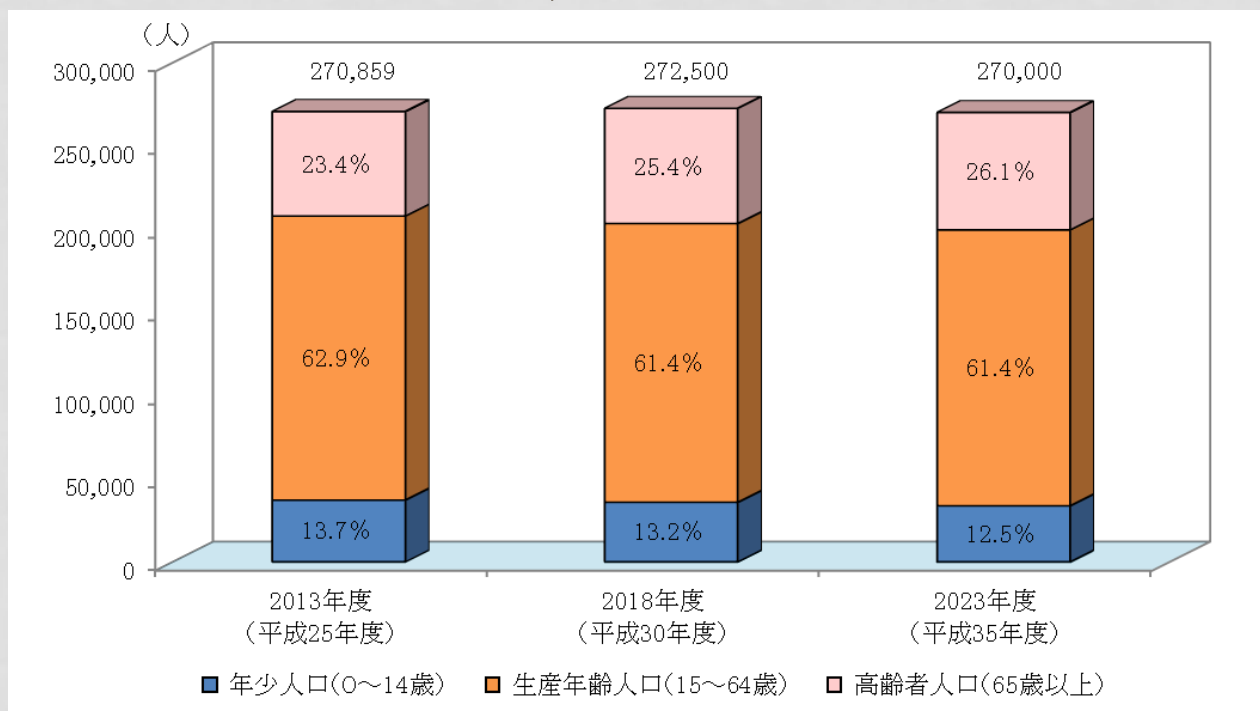
農業を中心とする第1次産業は年々減少を続けている一方で、商業・サービス業を中心とする第3次産業は増加を続けている。本市の第3次産業に集中した産業特性が顕著になっている。



2 水戸市の人口

○水戸市第6次総合計画ーみと魁プランーにおける人口の目標

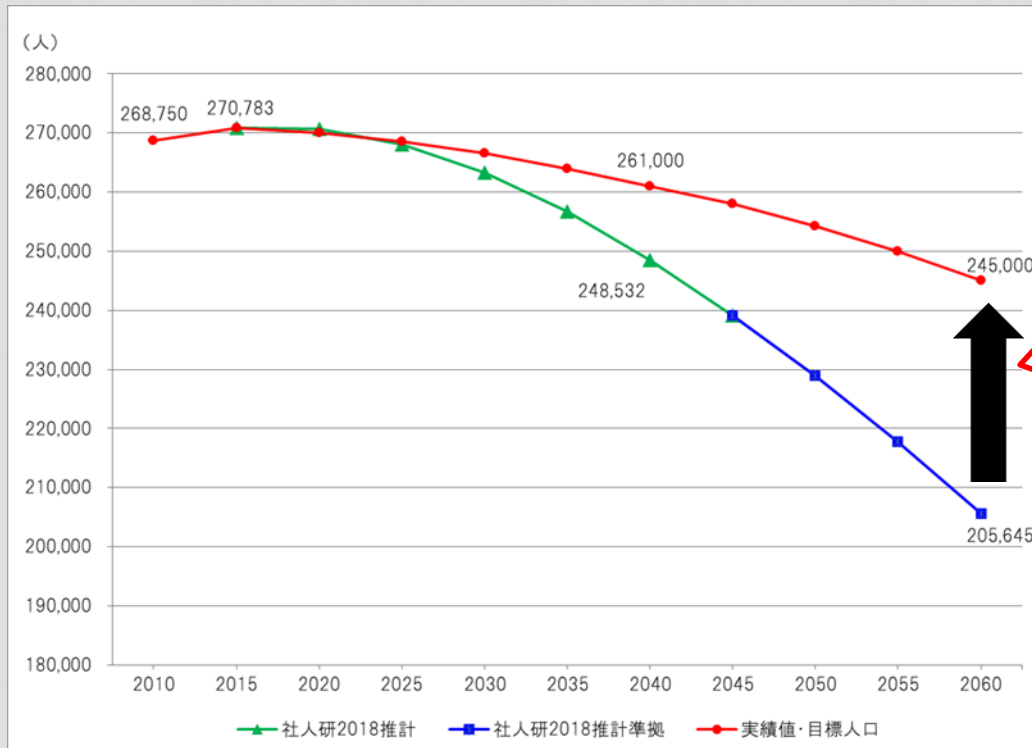
- ・2018年度 …… 272,500人
- ・2023年度 …… 270,000人



2 水戸市の人口

○まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口の目標

- ・2040年度 …… 261,000人
- ・2060年度 …… 245,000人



雇用の創出や居住環境の整備などを進め、人口減少を食い止める。

2 水戸市の人口

○人口減少，高齢化による問題

1 地域生活への影響

- (1) 商業施設，医療施設，公共交通の縮小
- (2) 地域コミュニティの衰退

2 地域経済への影響

- (1) 個人消費の縮小
- (2) 労働力の低下

3 行政への影響

- (1) 市税収入の減少
- (2) 社会保障費の増加
- (3) 行政サービスの低下

住んでみたい，住み続けたいと思われる，選ばれる魅力ある環境づくりが必要

3 人口減少社会を迎えての取組

○安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり

・子育て支援の充実(保育所整備)

保育所待機児童問題への対応として、市立、私立保育所等の整備を進め、平成23年以降、保育所等の定員数は、約3,200人増加している。



待機児童数は3人
まで減少

※令和4年4月

白梅保育所



3 人口減少社会を迎えての取組

○安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり

・子育て支援の充実（放課後児童対策）

小学生の放課後や夏休み等における居場所づくりとして、開放学級施設の整備などを進めている。



小学校6年生までの
希望者全員の受け入れ
（2020年度）



開放学級の様子

3 人口減少社会を迎えての取組

○安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり

・教育の充実

【水戸スタイルの教育】

チャレンジプラン(学力向上)

グローバルプラン(英会話力教育, 情報教育)

キャリアプラン(郷土教育, 芸術教育, 体験学習)

ふれあいプラン(いじめ解決)

小学校の授業風景



3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

・企業誘致の推進，起業支援の充実

企業や事業所の誘致に取り組み，多様な雇用の場を創出する。
あわせて，起業希望者に対してセミナーの開催や創業前後における支援など，サポートを行う。



コワーキングスペース 水戸
Wagtail(ワグテイル)

3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

・観光の振興

世界に誇れる偕楽園公園や弘道館など，水戸の持つ観光資源を磨き上げ，魅力を高めながら，様々なイベント等を開催し，交流人口を増やす。



弘道館

【観光交流人口】
314万人 (2012年) → 450万人 (2023年)

3 人口減少社会を迎えての取組

- 地域経済の活性化
- ・新市民会館の整備



開館予定 2023年7月
総事業費 195.2億円

2,000人を収容できる
大ホール等を整備。
3,000人規模のイベントの
開催が可能。

3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

- ・東町運動公園新体育館(アダストリア みと アリーナ)



完成年度 2019年度
総事業費 95.7億円

5,000人を収容できる
メインアリーナ等を整備。
2019年の国体会場として
使用された。
(レスリング, フェンシング)

3 人口減少社会を迎えての取組

○移住・定住の促進

人口流出の抑制，流入の増加に向け，ホームページ等を活用し，移住に関心のある方に対して本市の魅力を発信するとともに，コロナ禍における地方移住への関心の高まりを捉えた施策を推進するなど，移住・定住の促進を図る。

**まちといなか いいとこどり
アリかも！水戸暮らし**

本市の移住促進に向けたキャッチコピー

4 総合計画

○総合計画とは

まちづくりの基本方針となる総合的な計画

○総合計画の役割

総合的かつ計画的な行政運営の指針

市民, 事業者等の社会経済活動全般の指針

総合計画の役割

総合的かつ計画的な
行政運営の指針

市民, 事業者等の社会
経済活動全般の指針

4 総合計画

○水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー

【将来都市像】

笑顔あふれる安心快適空間

未来に躍動する魁のまち・水戸

水戸に住む全ての市民が安心して暮らし
幸せを感じられるまちをつくる



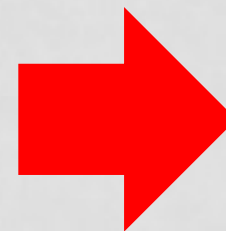
4 総合計画

○魁のまちづくりNEXTプロジェクト

多様化する市民ニーズや時代の課題等に対応し、水戸ならではの個性と魅力，都市力を向上していくための施策に重点的に取り組むプロジェクト。

【4つのプロジェクト】

- ・未来への投資プロジェクト
- ・いきいき健康プロジェクト
- ・災害に強いまちづくりプロジェクト
- ・魅力・活力アッププロジェクト



2023年度
までに
成果をあげる

5 第7次総合計画

第6次総合計画は令和5年度の最終年次を迎えることから、新たな総合計画を策定する必要がある。

反映

市民意向

- ・ 市民 1 万人アンケート
- ・ 大学生の考えるまちづくり
- ・ 市民討議会
- ・ 市民懇談会



反映

第6次総合計画の実績・課題 (評価)

反映

水戸市の特性

- ・ 歴史、文化
- ・ 産業
- ・ 拠点性



反映

時代の潮流、課題

- ・ 人口減少, 少子高齢化, S D G s
デジタル化, カーボンニュートラル

5 第7次総合計画

◆都市づくりの基本理念

将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市

〔実現に向けて〕

未来を創る
「こどもたち」の育成

三つの取組の
好循環を作りだす

豊かな暮らしを実現する
「経済発展」

「安心」
して暮らせる環境

5 第7次総合計画

◆ 三つの基本理念①

水戸の未来をリードする
「こどもたち」を育むまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

人口減少が避けられない中、本市の活力を維持し、持続的に発展するまちを実現するため、水戸の未来をリードするこどもたちをまち全体で育み、若い世代に選ばれるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 全国に魅ける安心してこどもを生み育てやすい環境づくり
- ・ 教育機関が集積する強みを生かした水戸ならではの魅力ある教育の推進

5 第7次総合計画

◆ 三つの基本理念②

市民の豊かな暮らしを実現できる
「経済発展」するまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

地域の資源や特性を生かし、持続的な都市の成長、市民の豊かな暮らしを実現できる経済が発展する先進的なまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 水戸ならではの歴史、芸術・文化を生かした、にぎわいづくり・産業振興、働く場の創出
- ・ 陸・海・空のネットワークを生かした手軽に移動でき、活動しやすい環境による産業振興

5 第7次総合計画

◆ 三つの基本理念③

誰もが生き生きと暮らせる
「安心」できるまちをつくる

[目指すべき都市づくりの方向]

誰もが生き生きと暮らすことのできるよう、**安心を実感**できるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 健康づくり，医療，福祉などの充実
- ・ 災害に強い地域環境づくり
- ・ ゼロカーボンに取り組む環境づくり
- ・ 誰もがデジタル化の恩恵を享受できる環境づくり

5 第7次総合計画

◆ 将来都市像

基本理念を踏まえた水戸市の目指す将来都市像
(将来の都市イメージ)

こども育む くらし楽しむ

みらいに躍動する **魁のまち・水戸**

5 第7次総合計画

◆将来都市像

こども育む

人口減少が避けられない中、本市の活力を維持し、持続的に発展する水戸を実現するため、未来をリードするこどもたちを、新しい時代にふさわしい環境や仕組みを構築しながら、まち全体で育むものです。

くらし楽しむ

市民が豊かに暮らし、活躍する場を経済発展により創出するとともに、身の回りの生活環境整備や防災・減災対策の充実など、安心を実感できる環境づくりを進め、日々のくらしを楽しめるまちとしていくものです。

5 第7次総合計画

◆ 将来都市像

みらいに躍動する 魁のまち

こどもたちをまち全体で育み，経済発展と安心を実感できる環境づくりにより，将来にわたって発展し，みらいに躍動する，ここで暮らしたいと思えるまちとしていくものです。

さらに，先人たちが築き上げた歴史と伝統，本市の特徴である豊かな自然を大切にしながら，教育，文化，福祉，医療など，あらゆる分野において魁の精神で挑戦し，先進的な発展をリードするまちを目指すものです。